

主要地方道盛岡環状線 野沢架道橋新設工事安全祈願祭を開催

盛岡広域振興局土木部

平成24年9月25日、滝沢村滝沢字野沢地内においてIGRいわて銀河鉄道の架道橋新設工事安全祈願祭が行われました。

当日は、県、IGR、施工業者など約50人が出席し、神事で工事の安全を祈願しました。

主要地方道盛岡環状線は、東北縦断自動車道に並行する重要な路線ですが、当該区間は幅員が狭く大型車のすれ違いが困難なほか、歩道が無いため、付近のIGR滝沢駅を利用する通勤、通学者の安全な通行が確保されていない状況となっています。

そのため、本工事では、現道の北側にボックスカルバートを新設し、現道と新道をそれぞれ片側通行とし、新しく出来るボックスカルバートに歩道を新設するものです。これにより、通行車両のすれ違いが容易になるとともに、歩行者及び車両の安全の確保が見込まれます。

総事業費は約20億円、開通は平成26年度を予定しています。

事業概要
 計画延長 L=1,060m、計画幅員 W=2.5m（歩道）、工種：歩道整備



盛岡広域振興局長による玉串奉奠



IGRいわて銀河鉄道社長による鍬入れ



現在の状況



完成予想図